

コロナ禍でもみんなで楽しいスキー♪感染防止は万全に！

「期待の新人発掘？」

京都スキー協・スキークラブ望峰（小山）

2021年シーズンは、例年になく早くから雪が降り始め、関西のスキー場でも12月からスキーができるなんて嬉しい限りです。長野県のスキー場でも毎年毎年雪の心配ばかりしていましたから。

しかし、「コロナ感染者」が全国的に広がり、特に関東では日々多くなってきています。京都でも年末になって増えてきて心配になってきましたので、会長と「正月ツアー」はどうしようかと相談をしました。「お世話になっている山楽さんが、キャンセルが出て困っておられるなら行ってあげないとアカンや！」ということで予定どおりに、1日午後出発で2.5泊して4日の午後帰路につく日程で実施しました。年末から行かれた方も含め総勢で10人となりました。

実施する為に、クラブで非接触型の体温計を購入して毎朝測ること。ゲレンデやホテル、車内でのマスクの着用も徹底しました。車内の空気の循環をさせる為に外気を入れながら走ること。ホテル内での手の消毒も徹底をしました。

志賀高原スキー場は、全山を滑るにはかなり時間がかかる広大なスキー場で、クラブ員のお気に入りの一つのスキー場です。今年は、どこのゲレンデも雪がたっぷりあり、雪質も良くゲレンデの人数も例年より少なく、小雪は降っていましたが天気もまあまあ良く、2日半でほとんどのゲレンデを滑る事ができ、みなさん十分に満足して楽しむことができました。

スキークラブ望峰は今年で結成33年目になります。昨年、新日本スポーツ連盟から「30年以上のクラブ運営」に対して表彰をしていただきました。結成以来、毎年続けている正月ツアーで、子ども達が小さい頃は家族ぐるみでの参加が多く10年間バスでのツアーを続けてきました。今は、子どもたちの参加がなくなりマイカーの乗り合わせをしていますが、ホテル山楽さんも10数年らしいの長い付き合いです。

私達のクラブ員も段々と年齢が高くなってきましたが、今シーズン『若い期待の星』が加入してくれました。この若者もこの正月ツアーに参加してくれました。昨年の秋に京都スキー協のホームページを見たとき電話がかかってきて、クラブ総会やオフシーズンのクラブの恒例行事になっている「愛宕山登山とぼたん鍋」にも参加をしてくれました。スキー技術レベルの高い方ですしクラブの将来にとって大切な方です。クラブ員も「このゲレンデはどうして滑ればいいの？」などと教えてもらったり、自分たちの子どもと想像してみなさんやさしく和気あいあいと和やかに過ごしました。

